

平成 25 年 8 月 15 日

公立病院改革プラン評価委員会の結果報告

みやぎ県南中核病院
病院長 内藤 広郎

いつも当院をご利用いただきありがとうございます。

さて、去る 8 月 2 日、当院の増築棟完成記念式典が講堂にて行われました。多くの関係者の皆様のお陰で、予算超過や工事遅延もなく完成できました事に改めて感謝申し上げます。増築棟の新しい救急外来はすでに 2 月より診療を開始しておりますが、放射線治療科の診療は 8 月 2 日より開始されました。これまで仙南医療圏では放射線治療ができなかったため、がん診療にとっては大きな前進となります。がん診療については緩和医療も重要になりますが、今回の増築棟に緩和病棟も整備されました。これも仙南医療圏では初めての機能となります。現在、看護師を確保した後、来春の開棟を目指して準備を進めております。

当院では、このような医療機能の向上や経営の効率化を目指すため、総務省の示す公立病院改革ガイドラインに基づき、平成 21 年 3 月に改革プランを策定いたしました。これらの改革プランはすべての自治体病院が策定し、毎年の成果を第 3 者委員から構成される評価委員会により講評をうけること、さらにその評価に基づいて必要に応じてプランを変更することが求められております。

この評価委員会は本来毎年開かれるべきものですが、当院では震災の影響で平成 23 年度分の委員会が開催されませんでした。従いまして、去る平成 25 年 5 月 29 日平成 23 年度、24 年度分の成果に対する評価委員会が開催されました。その結果、プランをほぼ達成しつつあるので、今後も機能向上と経営改善に向けて努力を続けるように、との評価をいただきました。また、プラン策定の期間は平成 24 年度までになっているので、今後は病院として新たに中長期計画を策定して取り組んで行くように、との指示もいただきました。詳細は評価委員会のメンバー表、議事録、委員長のコメントとしてお示ししましたので別紙をご参照ください。

今後とも、地域医療に貢献できますよう職員一同取り組んで参りますので、ご指導、ご支援の程宜しくお願い申し上げます。